

◆活動団体

団体名：可部夢街道まちづくりの会、可部カラスの会

連絡先：082-812-3630

◆活動内容

・ 大文字祭り

江戸時代に可部の町を焼き尽くした大火を機に京都からお迎えした火之迦具土神をお祭りしたのが始まりで、高松山（339m）の頂上付近に“大”の字が点灯する。H26の土砂災害で参道が崩れ、本年度は中止になった。H28年度も引き続き中止の予定である。

・ チンチロピッツ（7/25）

可部～旧広島市の舟運の安全を祈願して巖島神社の祭神市杵島姫命（いちきしまひめのみこと）を祭った明神社夏季大祭。俗にチンチロピッツが行われた。大正時代まで港であった広場では神楽、雲石街道は露店で夜遅くまで賑わった。



▲ 明神社の巫女さん

・ 可部の町めぐり（10/11）

古民家の点在する可部の町を紹介することで“可部のファン”を増やすことを目的に平成16年から始まった。お客様の要望を取り入れて屋台村、青空カフェ、若者向けフリマ、踊って歌っての道端演芸、酒の試飲等幅広い年齢層にマッチしたイベントとなっている。



▲町めぐり

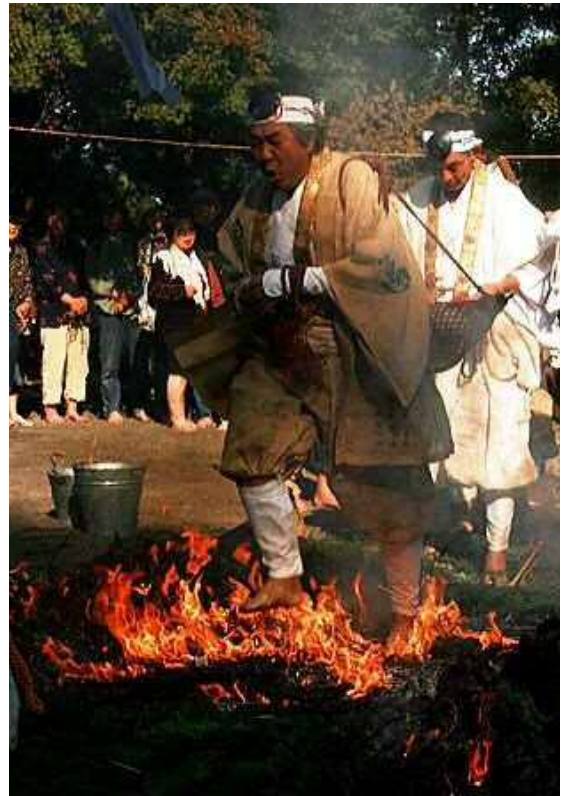


▲ 児童館の南中ソーラン

H27年度

・ JRふれあいウォーク (4/19、10/18)

福王寺は海拔501mの霊山の頂上にあり、安芸の高野山と言われ、弘法大使開基の中国地方きっての寺院で、広々とした境内には水が絶えたことのない金亀池、金堂、阿弥陀堂、御影堂など多くの祠があり、当日は石柱に刻まれた般若心経を味わいながら、山道を登り、山頂を踏んだ後、境内では火渡りの儀式に参加した。



▲福王寺の火渡りの儀式

・ わたしの好きな可部の町写真展 (10/4~5/31)

山に囲まれた古民家をまじえた可部の町、季節の花が顔を出す可部の町を、公募した18点の写真で表現した。約半年にわたり古民家を活用した可笑屋、公民館、広島銀行、可部駅広場で巡回展示した。

